

連合2023春季生活闘争 闘争開始宣言2.6中央総決起集会

「くらしをまもり、未来をつくる。」を合言葉に

一層の賃上げに全力で取り組もう！

連合は2月6日に、2023春闘の開始を広く社会に宣言するため「闘争開始宣言2.6中央総決起集会」を、3年ぶりに対面で開催しました。生保労連からも本部役員を中心に参加し、オンライン配信も含めて全体では1,400人近くの方が参加しました。

冒頭、芳野会長は「賃上げを中心とする『人への投資』によって生産性と実質賃金を持続的に改善してデフレマインドを断ち切り、賃金や物価、GDPが安定的に上昇する経済へとステージを変えていく」と力強く訴えるとともに、「すべての組合が要求を掲げ、粘り強い交渉を積み重ねる以外、この闘いに勝利は訪れない。すべての組合が、すべての経営者に一人ひとりの働く者の思いに真摯に向きあうことを求めている」と春闘への決意を語りました。

続いて、連合としての春闘に臨む決意が述べられた後、連合が取り組む「賃上げ実現・くらし支援 あしたを変える連合緊急アクション」に関連して、北海道と長崎を中継でむ



▲力強く語る芳野会長

ずび、それぞれの地域から取り組みの報告と春闘にかける意気込みが述べられました。

最後に、「賃上げを中心とする『人への投資』を起点として、働く者の能力・意欲の向上と所得増をはかり、消費拡大を通じて経済の好循環を実現する。その時がまさに今だ。わたしたちは、先人が積み上げてきた春季生活闘争の流れを継承しつつ、すべての働く者、そして生活者の先頭に立ち、一層の賃上げに全力で取り組み、ステージを変える」とする「闘争開始宣言」を採択し、すべての労働組合が全力で春闘に取り組む決意を確認し合い、閉会しました。



◀当日の様子は
こちら



◀集会オープニング
動画はこちら



◀連合緊急アクション
特設サイトはこちら